

人口ビジョン

I 人口の現状

- (1) 胎内市の人口
胎内市の人口
31,300人(2010年国勢調査)
30,663人(2015年8月末 住基人口)
※1975年の36,480人を境に人口減少が始まる。
※65歳以上の老年人口は増加傾向にあり、2010年の総人口比は29%
- (2) 自然増減及び社会増減
①自然増減
△169人(2013年)
※合計特殊出生率:1.46(2008-2012)
(全国:1.43 新潟県:1.44)
②社会増減
△118人(2013年)
※主な転出超過先は、新潟市約△70人、
新発田市約△50人、東京圏約△60人
※転出超過の主な年齢層は、
20~24歳で約140人

II 将来展望

- (1) 人口…2060年に20,098人
(2) 合計特殊出生率…2040年に2.1
(3) 社会増減…2040年以降移動均衡
(おおむね社会増減±0人)

国立社会保障・人口問題研究所
推計に準拠すると、
2060年人口 14,636人

総合戦略

基本目標・基本的方向

- まちとそこに暮らす市民を支える働く場や安定した収入を確保する
 - 主要産業となる工業・製造業の強化
 - 地域資源を活かした農林水産業・観光業の振興
 - 創業支援や次世代産業の育成等による新たな雇用の創出
 - 適切な情報発信によるマッチングの促進
- “胎内”の名にふさわしい安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備する
 - 出会いから結婚・出産までの支援
 - 安心して子どもを産み育てられる環境の構築
 - 子どもの健やかな成長を支える教育環境の整備
 - 忙しい若者・子育て世帯に寄り添った支援情報の充実
- そこに暮らす人たちが幸せを感じ、市外の人を惹きつけるような充実した暮らしの舞台を整える
 - 転入者の受け皿となるような魅力的な地域の整備
 - 将来も安心して住み続けられる確かな暮らしの実現
 - 美しい自然と共生する豊かな暮らしの実現
 - まちの魅力を発信するシティプロモーションの推進

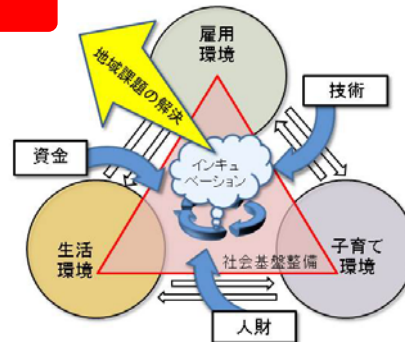
(主な施策)

- 1-(1)-1 市内企業等の振興・雇用促進
- 1-(1)-2 優良企業の誘致推進
- 1-(2)-1 魅力的な商品開発や販路の拡大
- 1-(2)-2 魅力的な観光パッケージによる振興
- 1-(2)-3 新たな担い手育成等による後継問題の解消
- 1-(3)-1 チャレンジ・イノベーションを生む環境づくり
- 1-(3)-2 再生可能エネルギーの導入拡大
- 1-(4)-1 オール胎内の体制構築
- 1-(4)-2 若者を対象にした情報提供

- 2-(1)-1 地域の特性を生かした出会いの場の創出
- 2-(1)-2 結婚・出産の後押し
- 2-(2)-1 子育てと仕事が両立できる環境づくり
- 2-(2)-2 緊急時や休日等のサポートの充実
- 2-(2)-3 子育てにかかる負担の軽減
- 2-(3)-1 子どもの遊び場づくり
- 2-(3)-2 特色ある教育プログラムの提供
- 2-(3)-3 高等教育の実現
- 2-(4)-1 見やすく分かりやすい情報発信
- 2-(4)-2 子育て＝“胎内”のイメージづくり

重点戦略

○市民をはじめとした地域内外の人財を巻き込んで新しい化学反応を起こす、“胎内”の名を活かしたインキュベーション・シティへ



- 3-(1)-1 既存住宅の有効活用
- 3-(1)-2 新たなニーズに応える宅地や住宅の供給促進
- 3-(2)-1 生活インフラの維持・改善
- 3-(2)-2 支え合いの環境づくり
- 3-(3)-1 自然環境等を活かした魅力的なライフスタイルの実現
- 3-(3)-2 新たな魅力につながる活動の支援
- 3-(4)-1 ふるさと学習等の推進
- 3-(4)-2 ICTを活用した情報発信
- 3-(4)-3 定住人口・交流人口の受入体制の充実